討議資料

大村市議会議員

北村タカトシ

活動報告書 第２号

OMURA Innovation!

議会活動

平成２４年６月～２５年３月、全４回の定例議会が開催されました。
全ての議会に登壇させて頂き、行政を質しました。
その内容をお知らせします。

２４年６月議会　一般質問

白血病患者を救うドナー支援制度の導入を！

白血病は１０万人に４人発症すると言われる血液の難病。骨髄移植による完治増進の為にドナーへの支援が必要だ。ドナーは約７日の通院入院となるが、休業補償等が無いためにあきらめるケースが４割との報告もある。自分自身がドナーとなり必要性を痛感している。既に先進地の事例も有り、九州初の制度導入を目指し、命のリレーを応援するまちを目指すべきだ。

回答→ドナー登録の推進については広報等ぐらいでしか行っていない。今後の検討課題と指せて頂きたい。

介護支援ボランティアポイント制度の一部見直しを！

ポイントの現金化はボランティアの理念に反する。また滞納保険料に充当するのは不適切。ポイント目当てのボランティアが増え、活動の幅が狭まる恐れもあるのでは。ポイント還元は公共施設利用券や地域商品券、施設や学校への寄付に充てる等、地域力が高まるような方法に限定すべき。共助を育む制度にするため、市民と共に制度設計を。

回答→現金化以外の方法についても検討したが、効果があるということで、内部的には現金化という結論に達した。まだ準備段階なので、内部で再度検討したい。

障がい者雇用を更なる推進を！

障がい者の法定雇用率が改定されるが、まだまだ行政や一部の企業が頑張っているだけ、というデータがある。これを民間に広げていくためにはインセンティブが必要だと昨年提案したが、その後はどうなっているか？

回答→現在自立支援協議会で様々な検討をしている。国の法整備も進みつつあるので大村市として何らかの計画を作成する必要があると思っている。

空いている民間賃貸住宅の借り上げ事業を再検討すべき！

空いている民間賃貸住宅を市営住宅として借り上げるべきと再三訴えてきた。市長より検討するという答弁はあるものの全く進んでいない。他の自治体では市営住宅を民間に建築してもらい市が借り上げる、という施策もある。今回新たに整備する黒木住宅に同様の手法がとれないか。

回答→可能性がないかどうかもう一度よく調査し、２５年度以降の課題にしたい。

学校ホームページのあり方を見直すべき！

大村市の学校ホームページはどれを見ても同じようなつくりで個性がない。全日本小学校ホームページ大賞に輝いた広島県尾道市のホームページは本当に素晴らしく、これこそが情報発信と言えるものだ。生徒自らが更新している部分もあり、活き活きとした様子が伝わってくる。参考にすべきだ。

（時間切れの為、答弁無し）

２４年９月議会　一般質問

骨髄ドナー休暇制度を導入すべき！

先日骨髄摘出移植手術を受けた。健康でいるだけで人一人の命が助かる、という素晴らしい機会を頂いた事に感謝している。骨髄バンクドナー登録推進の取り組みについて再度お訊ねする。難しいという答弁だがどんな検討をしたのか？民間にドナー休暇制度の導入が進むようなインセンティブが必要だ。

回答→ドナーに対する助成は難しいと考えている。検討は部内で１回、上層部で１回行った。啓発活動は重要だと考えているので商工会議所等に協力をお願いしながら呼びかけたい。

就労支援ガイドブックのリニューアルを！

障がい者就労支援のツールとなる就労ガイドブック。現行のものはわかりにくい部分もある。支援事業所や障がい者、親族の目線を取り入れてリニューアルすべき。

回答→事業所含めて関係者とともに検討、整備を進める。

★支援事業所や関係者の皆様のご協力の元、平成２５年１月にリニューアルされました。★

新給食センターでの障がい者雇用導入を！

平成25年夏に稼働する新給食センターにおいて、障がい者雇用を進められないか。障がい者の法定雇用率が適用される社員50名以上の企業は大村市内には数少ない。給食業務を委託する企業には大村市独自の雇用基準を適用してはどうか。また、業務の一部を分割し市内の就労支援事業所等に委託できないか。

回答→調理業務等の委託については、庁内で選定方法や委託の内容について検討している。障がい者の雇用については、可能な業務があることから他市の事例を参考にして取り組みたい。ただし、事業者選定の際に条件を付した場合、事業者が特定され、独禁法に抵触する可能性があるので、他市の事例などを参考にしながら研究したい。

★平成２５年１０月、新給食センターで障がい者雇用がスタートしました。★

外部評価の推進方法について

昨年提案した外部評価制度が実を結び感謝している。初の取り組みの結果や今後の展開をどう考えているか。市長マニフェストとの整合性は？

回答→市民７名の評価委員に１０事業を評価していただき、４事業が一部見直し、２事が強化、４事業が現状維持という結果であった。これを参考に内部評価を実施する。市長のマニフェストを外部評価の対象とする考えはない。

★平成２５年８月、新たに女性評価委員を増員し、９事業の外部評価が実施されました。★

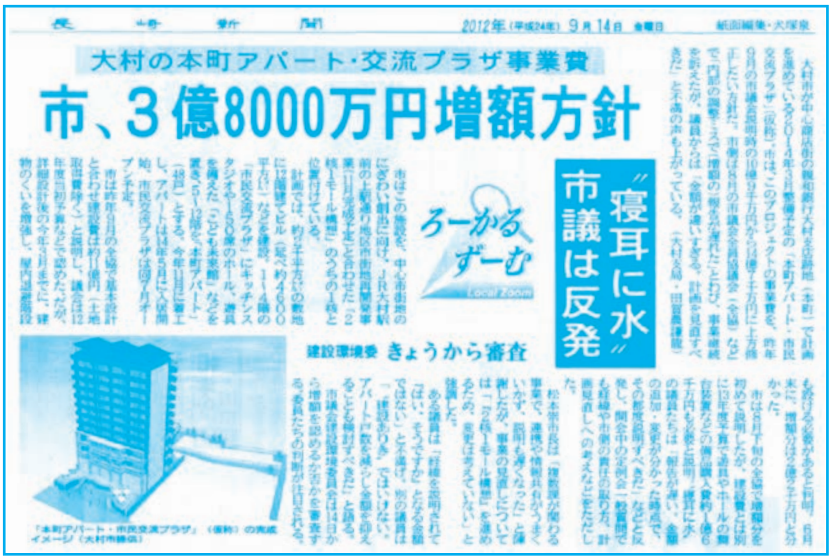
本町アパート建設予算増額は大きすぎ。計画を見直すべき！

昨年10月に軟弱地盤が判明し、建設費の増額が想定できたにもかかわらず、議会に一切説明しないまま24年度当初予算を審議させた。これは議会軽視であり審議の前提が崩れることになる。また、10億９千万円から14億７千万円へと総額３億８千万円もの建設費増額は看過できるものではない。基本計画を一部見直しするべき。

回答→この事業は、中心市街地の居住人口や来訪者の増加、楽しめる商業空間の展開等、目標を持ってやっている。ご指摘の議会に対する説明が極めて遅れたことについては今後十分に気をつけるが、来年１月に完成する上駅通り再開発との２核１モールの大事な１核である本町アパート・市民交流プラザの建設は何としても実現したい。

★初の修正動議。無念の否決★

本町アパート・市民交流プラザ建設における２.２億（関係予算まで含めれば３.８億）にも登る予算増額は看過できない。計画を一部見直し、当初の認められた予算内で建設すべし、として３名の議員と連名で修正動議を行いました。
喧々諤々の議論の結果、採決は賛成１０・反対１２で否決。
残念ながら私たちの考えは通りませんでした。民主主義は多数決である、という現実を突き付けられたような気がします。修正動議の上程者として登壇させて頂き、先輩議員と議論した経験は本当に良い勉強になりました。


長崎新聞　2012年（平成24年）9月14日　金曜日　紙面編集・大塚泉

大村の本町アパート・交流プラザ事業費

市、3億8000万円増額方針

“寝耳に水”市議は反発

建設環境委　きょうから審査

「本町アパート・市民交流プラザ」（仮称）の完成イメージ（大村市提供）

２４年１２月議会　一般質問

市制７０周年事業の効果は？

７０周年事業として開催された食の祭典や一連のイベントの成果はどうか？２５年度以降は継続するのか？コレモおおむらや本町アーケードを中心とした回遊型のイベントをやってはどうか？

回答→５万人の参加があり経済効果もあった。フラワーフェスタや食のイベントは毎年継続したいと考えている。

大村公園のバリアフリー化を推進すべき！

大村公園は年間観光客数100万人の内、44万人を集客している大村市民の宝。公園利用者の高齢化は避けられず再整備を急ぐべき。県央リハビリテーション連絡協議会バリアフリー委員会が行った調査結果は提言とも言える質の高い内容である。大村の顔である公園の価値を更に高めるためには対処療法的な整備・改修ではなく、さまざまな分野のプロをシンクタンクとして市民協働で丁寧に整備を進めるべきだ。特にトイレの整備は早急に取り組む必要がある。

回答→バリアフリー委員会の調査結果は、障がい者等の車の乗降時における安全確保やトイレの整備など、きめ細かな調査をされており、我々が気付かない部分まで指摘していただき、感謝している。今後、市民の皆様方の意見をよく聞き、取り入れて、方向づけができるようにしたい。

★…担当部局とバリアフリー委の皆さんと担当部局が意見交換会を開催。駐車場の配置などについて協議し、花まつり期間中、福祉施設車両専用の臨時駐車場が設定されました。★

地域力再生と児童の体力向上にラジオ体操を！

地域コミュニティ崩壊による地域力低下が叫ばれて久しく、子ども会加入率も低下の一途。児童生徒の体力も低下傾向にある。老若男女が参加しやすいラジオ体操会を地域で行えば地域力再生や体力向上、健康増進も期待できる。既に熱心に取り組む自治体もあり、本市もラジオ体操の普及啓発を学校での指導もあわせて行うべきだ。

回答→子供会の加入状況は年々低下している。関係機関と連携し加入促進に向けた活動を進める。児童体力も県や全国平均を下回っている。ラジオ体操を各地区で進めたらどうかという提言も頂いた。大村市全体で考えていきたい。

★…25年7月全国ラジオ体操会が三城小学校で開催されました。★

三浦地区の産廃施設の再稼働について

地域住民から再稼働について懸念の声が上がっている。市はどのような認識を持っているのか？

回答→市は継続して施設の適正な維持管理、臭気のさらなる低減を図るよう事業者、長崎県に働きかけていく。

中小企業振興基本条例の制定を！

何度も要請しているそのスケジュールはどうなっているか？今年度中に策定できるのか？

回答→大村市独自の中小企業振興策も含めて 25 年度中には結論を出したい。

★…担当職員が中小企業家同友会の勉強会などに参加。制定に向けての準備が進んでいます。23年6月議会から条例制定を訴え続けてきましたが、25年12月議会において条例案が上程される見込みです。★

生活環境の衛星保全について

市内にもごく少数だがいわゆる「ごみ屋敷」があり、地域住民からの相談も受けている。他の自治体では条例なども制定されているが、地域生活環境の衛生保全についてどう考えているか？

回答→環境保全条例に市民の責務も記載されており、職員が出向き整理整頓をお願いしている。

２５年３月議会　一般質問

おおむらロードレース大会について

ランナー人口は増加しており、全国各地でマラソン大会が誕生している。ハコモノ無しで集客でき、経済効果もある。大村にも歴史ある大会を活かすべきだ。私も出場したロードレースだが、１０ｋｍコースの参加者からはコースへの不満や安全性への疑問の声が上がっている。大会全般を見直しつつ、ハーフマラソン開催を検討してはどうか。

回答→マラソンやロードレースの開催は地域活性化に非常に大きな効果があると考える。開催には道路事情や警察との協議など、難しいハードルがあるが、職員や市民からアイディアを募り、ハーフマラソンの開催を検討したい。

ラジオ体操への取り組みについて

三城小学校でラジオ体操大会が開催されるということで PTA 関係者の皆様には敬意を表したい。ご当地言葉でラジオ体操をやってはどうかという提案をしたが検討をしているか？

回答→健康づくりが仲間づくり意識にもつながり、地域活動に必要なことだと考えている。それらを含めて検討したい。

市内介護施設の防火防災対策について

長崎市のグループホーム火災では４名が犠牲となった。大村市でも７名の犠牲者を出したグループホーム火災が起こっている。市はどのような対策をとっているか？制度上、どんな施設も夜間体制は脆弱である。地域との連携も強化すべきだ。

回答→防火対策緊急会議を開催し、対策強化を呼びかけている。消防署による緊急査察では一部対策が不十分な施設もあったので指導を行う。地域との連携強化については今年度中にアクションを起こしたい。

コレモおおむらを活用した中心市街地活性化策について

駐車場や広場の屋根等、施設整備について課題があるのではないか？
活性化のための「まちなか再生プロジェクト」の進行状況はどうか？いつもの手法や同じ顔ぶれではありふれたものになりがち。「５つのＹ」=「やりたい人が、やりたい時に、やりたい事を、やりたい分だけ、やりたいようにやる」を念頭に新しい手法や発想の転が必要。
イベント情報の共有化、一元化を行う連絡協議会や、大村市で行われる全てのイベントが一目でわかる情報サイトが必要だ。

回答→施設整備については協議、検討を進める。一本化する協議会は必ず必要だと思う。街づくり株式会社と一体となった協議会の必要性をアドバイスしたい。

図書館の整備について

県立図書館の誘致はどうなっているか？座して静かに待つのみ、という事では物足りない。市長の政治力を発揮すべき。大村市立図書館を考える会の提言は素晴らしいものだ。このような市民の声をどう活かすのか？

回答→８年間、やるべきことはすべてやりつくした。大村誘致の実現に確信を持ちながら静かに毎日を過ごしていく。新しい図書館のあり方については庁内検討会で基本構想を協議している。市民の意見を反映させる機会を設定していきたい。

新幹線車両基地の観光資源化を！

世界に冠たる日本の鉄道技術。その最高傑作ともいえる新幹線の車両基地が大村に設置される。熊本の例にならい基地自体を観光資源化すれば、全国の鉄道ファンを集客できるチャンスになる。車両基地の夜間ライトアップ見学や「鉄の駅」設置など、新手法を取り入れた観光振興策を計画に盛り込むべき。

回答→大村市への設置が決定した車両基地を観光につなげることは賛成である。ご提案の件については積極的に取り組みたい。

議事録全文は、大村市議会のホームページにて。
また、質疑の全映像もご覧いただけます。

その他の活動

感謝状

北村貴寿 殿

あなたはこのたび臭骨髄バンクに協力をいただき骨髄を提供され血液難病に苦しむ方々に明るい希望をもたらされました
その崇高なお心は社会の模範となるものであります
よってここに深く感謝の意を表します
平成二十四年 九月十四日
厚生労働大臣 小宮山 洋子

骨髄移植のドナーとなり骨髄を提供しました

2005年に骨髄バンクに登録しており、今回ドナーとなることができました。健康で生きているだけ人の命が救えるという素晴らしい経験をさせて頂いたことに感謝。
今後も一人でも多くの血液難病患者が救われることを祈るとともに、政治活動にも反映したいと考えています。検査や手術までの経過をブログにまとめています。厚生労働大臣より感謝状を頂きました。

8月1・2・3日はおおむら夏越まつり

実行委員会スタッフは16年目。今年は全体運営に携わり、子ども絵馬の導入、協賛会会則の変更等を行いました。

おおむら夏越まつりにて

市政報告会にて

24年10月　二回目の市政報告会

述べ50名の皆さんにご参加頂きました。ありがとうございました。
出前報告会もやっております！どうぞお気軽にお声かけ下さい。

25年2月　グローバルリーダー育成塾に入塾

塾頭を櫻井よしこ氏が務めるグローバルリーダー育成塾（公社日本JC主催）に応募、論文を提出し入塾を許されました。全国から集まった100名の仲間たちと共に学びます。

グローバルリーダー育成塾にて

復興フォーラム in 大村にて

東日本大震災への支援活動

25年３月　福島県浪江市より講師を招へいし、大村市より復興支援に取り組む方々と共に「復興フォーラム」を開催しました。
大村部隊の被災地支援写真展、東北物産販売会も開催させて頂きました。皆様のご協力に心から感謝。

東日本大震災
長崎から

支援活動継続や
防災意識高める

大村で復興フォーラム

東日本大震災の「復興フォーラムin大村」が22日、大村市内であり、市民団体や市などの関係者が、継続的な被災地支援や、日ごろの防災意識の大切さについて意見交換した。

大村青年会議所が主催し市民ら約100人が参加した。福島県浪江町の浪江青年会議所前理事長、石田全史さんが講演し、被災時の町の様子を映像で紹介。「日ごろから防災、減災の取り組みを」と訴えた。

大村市から岩手県大槌町へ移住した医師の宮村通典さん、市民団体「always from omura プロジェクト」代表の村川一恵さん、陸上自衛隊大村駐屯地広報室の松岡博文さん、大村市東日本大震災支援本部事務局の福江豊さんが登壇し、これまでの支援活動を報告。「今後も支援を続けたい」「被災地への長期派遣でストレスを抱える自治体職員は多い」などと意見を交わした。

（田賀農謙龍）

被災地支援について意見交換する登壇者＝大村市中町、市コミュニティセンター

政治ライフワーク・公開討論会の推進

24年８月　長崎県福江市長選挙における公開討論会、コーディネーター。

24年12月　長崎一区衆院選公開討論会、サブコーディネーター。

25年３月　熊本県菊池市長選挙における公開討論会、コーディネーター。

立候補予定2氏
独自の政策で論戦

五島市長選前に政策討論会

任期満了に伴う五島市長選（19日告示、26日投開票）を前に、福江青年会議所は8日夜、市内で立候補予定者を招いたローカル・マニフェスト型まちづくり政策討論会を開催。元県水産部長の野口市太郎氏（56）と、五島新報新聞社社長の永冶克行氏（63）の2人がそれぞれの政策を披露し合った。

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州長崎支部長の北村貴寿氏がコーディネーターを務め、事前に作成した政策を基に議論を深めた。約400人（主催者発表）が集まった。

「すぐに行う重要施策」について、野口氏は離島活性化交付金を活用した輸送コスト軽減など農林水産業の振興を掲げた。一方、永冶氏は市職員の給与を引き下げて若い職員の雇用を増やすことを主張した。

経済活性化対策では、永冶氏は参加型スポーツ大会開催や大型船の誘致などで交流人口を拡大させる策を提案。野口氏は島外に流出する消費を島内に戻すため給食などさまざまな面で地産地消を進めると語った。

（後藤洋平）

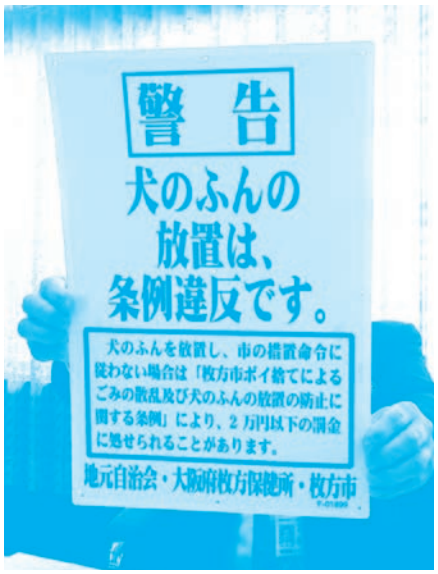
立候補予定者２人が意見を交わしたローカル・マニフェスト型まちづくり政策討論会＝五島市池田町、福江文化会館

◀ローカル・マニュフェスト型
まちづくり政策討論会にて

全国各地へ行政視察に赴きました

・東京都武蔵野市「雨水貯留浸透施設設置事業」
・群馬県渋川市　「借上賃貸住宅事業」
・千葉県市川市　「中学校校舎・給食室・公会堂整備並びに保育所整備PFI事業」
・北海道夕張市　「財政再建と地域再生への取り組み」
・北海道岩見沢市「ささえる医療クリニック岩見沢」
・大阪府枚方市　「ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例」
・大阪府西宮市　「公共施設マネジメントの取り組み」
・兵庫県加西市、京都府亀岡市「議会改革先進地の取り組み」
・熊本県・鹿児島県「新幹線車両基地」

※全ての行政視察報告書が議会事務局で閲覧できます。



大阪府枚方市 視察にて

北村タカトシ プロフィール

大村市議会議員　一期目　所属会派「おおむら未来の会」
議会運営委員会（副委員長）
地場産業調査特別委員会（副委員長）
経済厚生委員会

昭和４８年２月６日生 水瓶座の〇型
大村市武部町在住　家族：妻　理子

・市立三城小学校　・市立大村中学校
・県立諫早商業高校　情報処理科
・国立いさはやコンピュータカレッジ　卒業
・社会福祉法人瑞鳳会　介護サービスセンターベイサイド大村　役員
http://zuihoukai.org

〇選挙歴
平成１９年　大村市議会議員選挙　　１，０２２票　落　選
平成２２年　大村市長選挙　　３，２３６票　落　選
平成２３年　大村市市議会議員選挙　１，６７３票　初当選

〇政治運動関係
県内外で公開討論会を推進、コーディネーター等を務めています。私のライフワーク。
平成１７年　郵政解散における長崎三区・衆議院議員選挙
平成１８年　大村市長選挙において長崎県初のローカル・マニフェスト型公開討論会
平成２０年　長崎一区・三区・四区　政権”せんたく”公開討論会
平成２１年　福岡県柳川市長選挙　福岡県筑後市長選挙
平成２２年　長崎県知事選挙　長崎県南島原市長選挙　長崎県参議院選挙
平成２４年　熊本県知事選挙　福岡県筑後市市長マニフェスト中間検証
長崎県長与町長選挙
長崎県福江市長選挙　長崎一区衆議院議員選挙
平成２５年　**熊本県菊池市長選挙**

〇その他
平成１２年　バイクイベント長崎ピースラリーを毎年開催
骨髄バンクドナー登録推進運動を発信中
http://farwest.jp
平成２０年　北方領土へ上陸視察
平成２３年　宮城県にて災害復興支援ボランティアに参加
平成２４年　**骨髄移植のドナーとなり骨髄を提供**

〇趣味：バイク・自転車・山のぼり

～政治資金収支のご報告～

●平成２４年政治活動収支

収入総額		284，926
・内訳	繰越	234，926
	借入金	50，000
支出総額		283，388
・内訳	組織活動費	9，000
	宣伝事業費	274，388
借入金の総額		3，064，205（すべて自己資金）

※県選挙管理委員会ホームページで全ての政治団体収支報告が閲覧できます。

〇所属団体等
ローカル・マニフェスト推進ネットワーク
(公社)大村青年会議所OB会
中小企業家同友会
大村市自立支援協議会
大村市在宅ケアセミナー
(社)観光コンベンション協会
はっぱ隊１０人衆
FARWEST　LONGRIDERS
小佐古町永寿会
大村市社会福祉協議会
大村東彼防衛協会
富松神社氏子青年会
木場龍踊り保存会
おるびすワンゲル部

〇最新動向はfacebookかtwitterにて！
リクエスト、フォロー待ってます！

北村タカトシ事務所
〒856-0847　大村市西部町264－4
TEL:0957-52-7731(ベイサイド大村内)
FAX:0957-50-0733
ホームページ　http://takatosi.net
メール　info@takatosi.net

政治をイノベーション!!